安城市教育センター運営計画

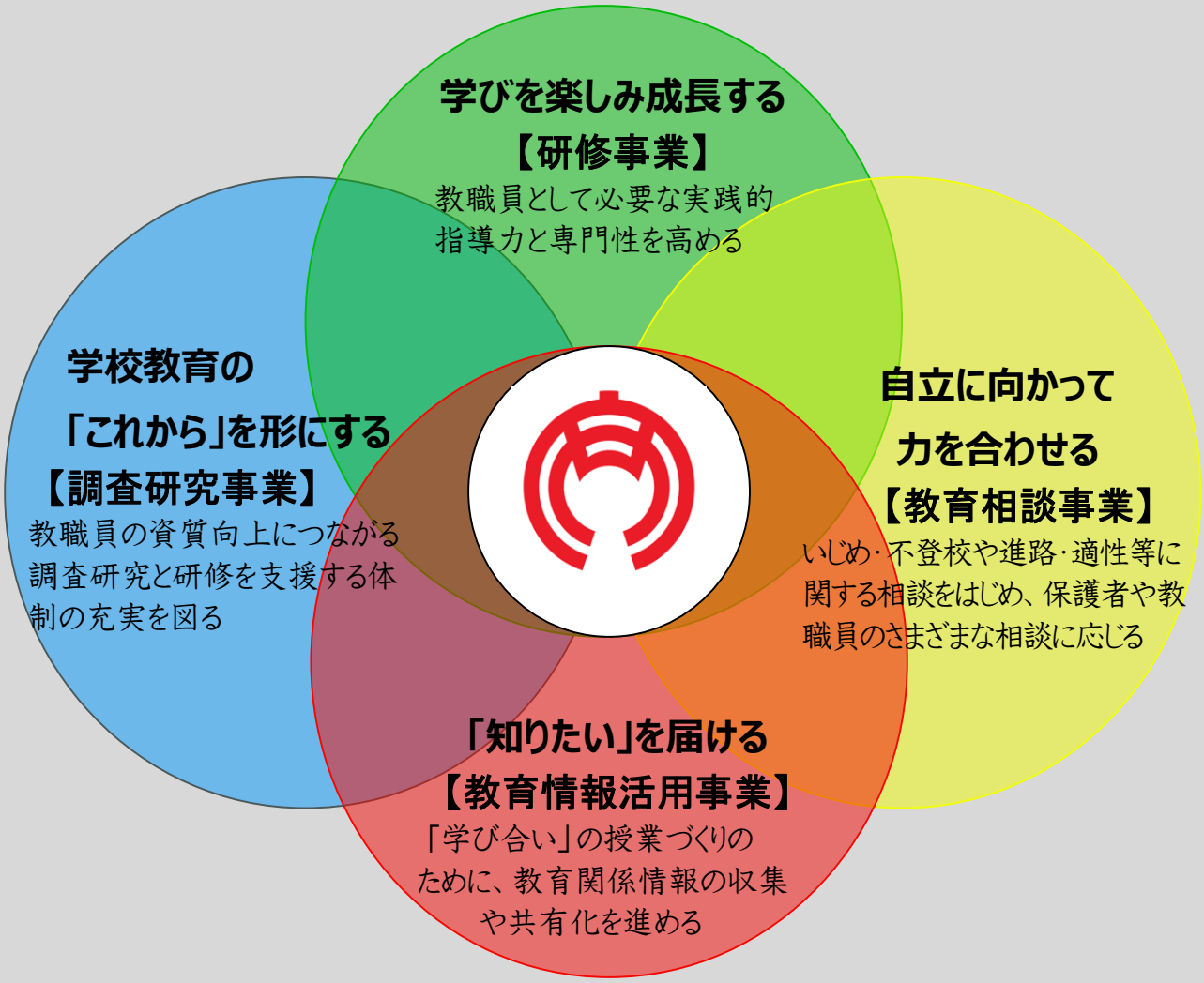
（1） 目　　的

安城市の小・中学校教育の研究・研修センターとして、教職員の研究活動を支援・推進し、研修・調査研究・教育相談・教育情報活用に関する事業を推進する。

（2） 重点目標

令和８年度学校教育の指導方針である「いのちの教育」「学び合いのある授業づくり」「一人一人を大切にしたきめ細やかな支援」を踏まえ、学校における教育活動への支援事業の充実に努める。特に、教育センターが教職員みんなの拠り所になっているかという視点で事業を振り返り、目的を達成していく。

（3） 柱とする４つの事業



安城市教育センター事業概要

1　研　修　“学びを楽しみ成長する“

（1）目　的

教職員として必要な実践的指導力と専門性を高めるため、人材育成、教育課題の解決、研修成果の還元を目指した研修を設定し、各校の校内研修とともに安城市の教育の充実を図る。

（2）方　針

ア　いのちの教育を推進し、プログラミング教育、道徳教育、英語教育等の今日的な課題について、指導・評価・授業の在り方を研修するとともに、実践を踏まえた内容を実施する。

イ　若手教職員の育成を目指した研修や、職務に応じた専門知識や技術を身に付けるための研修を通して人材を育成し、教育者としての資質向上を図る。

ウ　さまざまな支援を要する児童生徒への対応について、個々に応じたきめ細やかで、適切な支援を実現するために、校内支援体制を促進するための各校の研修を支援、活性化する。

【令和８年度安城市教育委員会研修事業計画】（Ｐ３・４研修事業計画参照）

No.	研　修　名	回数	No.	研　修　名	回数
1	校長･教頭合同研修	1	14	3年目教員研修	1
2	教務･校務･情報主任合同研修	1	15	2･3･4年目教員合同研修	2
3	養護教諭･生徒指導･教育支援担当合同研修	1	16	学校事務職員基礎研修	1
4	事務職員担当者研修	1	17	教職基礎研修	2
5	いのちの教育推進研修	1	18	養護教諭基礎研修	2
6	授業デザイン研修	1	19	指導員国内教育視察	1
7	安城市研究報告会	1	20	指導員県外研修	1
8	個への支援推進研修	1	21	QU分析・活用	各校
9	コミュニティスクール若手職員研修	1	22	学校司書との連携	各校
10	コミュニティスクール応用研修	1	23	NEXT　GIGA構想対応	各校
11	コミュニティスクール基礎研修	1	24	「生徒指導」支援	各校
12	新規採用者研修	4	25	エピペン研修会支援	各校
13	2年目教員研修	1	26	ゲートキーパー研修支援	各校

【令和８年度安城市教育センター開設講座】（Ｐ５開設講座参照）

No.	講　座　名	回数
1	情報モラル	1
2	ミライシードを使って授業をしよう/ミライシードの機能を使いこなそう	2
3	いのちの教育サポートプランを生かしたQUの利活用	1
4	個への支援（児童生徒理解）	3
5	私の授業づくり（日本語教育、総合的な学習）	2

【教育センター講演会】

日　　時　　令和８年８月２０日（木）　13：15～

講　　師　　シーホース三河チームディレクター　佐古　賢一　様

令和８年度安城市教育委員会研修事業

※赤色：いのちの教育、水色：学び合い、緑色：個への支援　　※「主な育成指標」については、この限りではありません。自身の学びに応じて受講者が判断してください。

職務研修

	研修名	対象者	参加	回	内容	方法	日時	主な育成指標	備考（講師等）
1	校長・教頭合同研修	校長・教頭 主幹教諭		1	学校を元気にするESD	講話	8月18日（火） 14:00	校長6、7、8 教頭9C、11Cおよび校長指標6、7、8を参照	湘南学園学園長　住田　昌治
2	教務・校務・情報主任・合同研修	教務主任 校務主任 情報主任		1	デジタルシティズンシップ教育	講話	7月29日（水） 14:00	3(A～C) 10(A～C)	国際大学GLOCOM准教授　豊福　晋平
3	養護教諭・生徒指導・教育支援担当合同研修	養護教諭 生徒指導担当 生徒支援担当		1	不登校の心の傷が癒えるとは（仮）	講話	7月28日（火） 14:00	5(A～C)	神戸大学名誉教授　広木　克行
4	事務職員担当者研修	事務職員		1	学校事務職員の役割	講話	9月16日（水） 14:00		愛知教育大学教授　風岡　治

教育課題研修

No.	研修名	対象者	参加	回	内容	方法	日時	主な育成指標	備考（講師等）
5	いのちの教育推進研修	・各校正規教員・常勤講師3名以上 ・希望する非常勤講師		1	SSWとの協働	講話	7月31日（金） 9:15	4 5(A～C) 11(A～C)	日本福祉大学教授　野尻　紀恵
6	授業デザイン研修	・各校正規教員・常勤講師3名以上（社会科担当者が望ましい） ・希望する非常勤講師		1	主体的・対話的で深い学びの授業づくり（社会編）	講話	8月5日（水） 14:00	6(A～C) 9(A～C)	大妻女子大学教授　澤井 陽介
7	安城市研究報告会	・各校研究推進担当1名 ・1～4年目教員 ・希望する非常勤講師		1	昨年度の安城市教育を「振り返る」～「主体的・対話的で深い学び」ICTの学び合い　派遣研究生を中心に～	視聴	動画配信	6(A～C)	
8	個への支援推進研修	・各校正規教員・常勤講師3名以上 ・希望する非常勤講師		1	教育のユニバーサルデザインと学びのユニバーサルデザイン	講話	8月21日（金） 14:00	5(A～C) 8(A～C)	星槎大学大学院教授　阿部　利彦
9	コミュニティ・スクール若手教職員研修	・10年目程度までの教員2名		1	コミュニティ・スクールの仕組みを理解し、活用法を探る	講話	7月29日（水） 14:00	12(A～B)	安城市教育委員会 学校教育課CS運営統括　村瀬　正幸
10	コミュニティ・スクール応用研修	・CS設置校・準備活動校の教職員 ・希望する教職員		1	学校運営協議会の運営上の工夫・改善点をつかむ	講話	8月18日（火） 14:00	12(A～B)	文科省CSマイスター　四柳千夏子
11	コミュニティ・スクール基礎研修	・希望する教職員2名以上		1	学校運営協議会の仕組みを理解し、活用法を考察する	講話	8月19日（水） 9:30	12(A～B)	文科省CSマイスター　四柳千夏子

少経験者研修

No.	研修名	対象者	参加	回	内容	方法	日時	主な育成指標	備考（講師等）
12	新規採用者研修	小中学校初任者 新規採用養護教諭（第3回は希望者） 新規採用栄養教諭（第3回は希望者） 新規採用事務職員（第3回は参加せずNo.16に参加）		1	開式「安城を支える教師として」施設見学（北部調理場）	講話	4月22日（水） 14:00	1、11A	教育センター所長
				2	コミュニケーションスキル向上	講話	8月4日（火） 14:00	4、11A	担当指導主事 指導員
				3	No.7安城市研究報告会参加	視聴	動画配信	6(A～B)	
				4	閉式「安城を支える教師として」仲間とともに歩む（郷土学習）、閉式	見学	8月18日（火） 終日	12(A～B)	担当指導主事
13	2年目教員研修	2年目教諭・養護教諭・栄養教諭		1	教師としての企画・構想力アップ&私の教育相談会 ～野外研修：作手村～	実習	8月19日（水） 終日	4、11A	指導員 担当指導主事
14	3年目教員研修	3年目教諭・養護教諭・栄養教諭		1	私たちの「学び合い」をつくる ～授業研究会で授業者を支える～	実習	未定	6(A～B) 養教・栄養8(A～B)	会場校校長 指導員
15	2・3・4年目教員合同研修	2・3・4年目教諭・養護教諭・栄養教諭 ※養護教諭、栄養教諭（2は希望者のみ）		1	周期開催（R8①、R9②、R10③） ①QU・学級経営 ②生徒指導 ③ICT活用	講義	7月24日（金） 14:00	5(A～B) 9(A～B)	安城市教育センター 社会教育指導員
				2	No.7安城市研究報告会参加	視聴	動画配信	6(A～B)	
16	学校事務職員基礎研修	経験3年以下の事務職員（市外からの転入事務職員等希望者）		1	周期開催（R8②、R9③、R10①） ①市会計予算執行、②人事任用服務、③文書情報管理、（④毎年・相談全般） ※教科書、就学援助は学事係主催の説明会（4月、12月）に希望して参加可能	講義	8月24日（月） 14:00		①総務課庶務係 ②指導係 ③④総括事務長
17	教職基礎研修	教職経験通算3年以下の常勤講師 ※希望制（出られない研修があってもよい）		1	子ども理解のヒント	講話	5月19日（火） 14:00	5A、11A	教育センター所長
				2	私の教育相談会	実習	7月29日（水） 9:00	6A、11A	指導員
18	養護教諭基礎研修	安城市勤務経験1年目の養護教諭（講師） 希望する養護教諭		1	エピペン研修（希望者）	実習	4月20日（月） 15:00	13A	八千代病院小児科
				2	執務上の課題について（安城市勤務経験1年目の講師と希望する養護教諭）	実習	7月22日（水） 14:00	3、14A	主任養護教諭

視　察

視察	19	指導員国内教育視察（市費）	指導員	1人1回	計5回	先進的国内教育視察	見学	原則2学期までに実施	6C	視察2泊3日以内 （視察地は各自選定）
	20	指導員県外研修（県費）	指導員	4	1	先進的実践校等視察	見学	11月17日（火）～ 11月18日（水）（予定）	6C	視察1泊2日（視察県未定） ※視察校との調整によって 日程の変更あり

校内教育研修支援

	No.	支援名	内容	方法	対象・日時	主な育成指標	備考（講師等）
校内教育研修支援	21	QU分析・活用 （年間3校程度）	学級経営に役立つQUの分析・活用	講義	随時	5、7、9、10、11 （A～C）	社会教育指導員 QUリーダーズネットワーク
	22	学校司書との連携	学校司書と連携した学び合いの授業実践のヒント	講義	随時	6、11 （A～C）	安城市教育センター 図書館教育アドバイザー
	23	NEXT GIGA構想対応　ICT活用	ICTを利活用した「学び合い」の推進 メディアリテラシー　情報モラル	講義	随時	6、10、11 （A～C）	安城市教育センター 教育DXアドバイザー
	24	「生徒指導」支援	不登校、いじめ、虐待などの生徒指導上の問題の早期発見や組織的な対応等について考える	講義	随時	5、7、8、9、10、12 （A～C）	安城市教育センター スクールソーシャルワーカー
	25	エピペン研修会支援 （指定された10校）	シミュレーション実習 カンファレンス	講義	指定日	10 （A～C）	八千代病院小児科
	26	ゲートキーパー研修支援 （年間3校まで）	教職員のゲートキーパーの力の育成 （教職員が、職場内、あるいは子どもたちとのかかわりに生かしたり、児童生徒へのゲートキーパー力育成の必要性を理解するための研修） ※児童生徒への講義ではありません。	講義	随時	10 （A～C）	安城市保健センター職員

教育センター講演会

	No.	講演会名	内容	方法	日時		備考（講師等）
講演会	27	「リーダーと言われて・・・」（仮）	未定	講話	8月20日（木）　13:15		シーホース三河 チームディレクター　佐古　賢一

令和８年度安城市教育センター開設講座

※赤色：いのちの教育、水色：学び合い、緑色：個への支援　　※育成指標については、この限りではありません。受講者が自身の学びに応じて判断してください。

開　設　講　座

	No.	講座名	回	内容	方法	日時	育成指標	備考（講師等）
開設講座	1	情報モラル	1	児童生徒が情報社会で適正な活動を行うための考え方と態度を身につけるためのヒント	実習	7月21日（火）　13:30	6、10 （A、B）	教育DXアドバイザー　向井　義則 情報教育指導員　川出　功辞
	2	ミライシードを使って授業をしよう オクリンクプラス編	1	オクリンクプラスを授業で活用する方法を学ぶ	実習	7月22日（水）　9:00	6 （A）	教育DXアドバイザー　向井　義則 ベネッセコーポレーション
	3	ミライシードの機能を使いこなそう ドリルパーク編	1	ドリルパークの活用方法を学ぶ	実習	7月22日（水）　13:30	6 （A）	
	4	「いのちの教育」サポートプランを生かした「QUの利活用」	1 (2)	自分でQ－Uが分析できる学級経営の手立てを考える教師を育てる講座	講話	7月28日（火）　9:00	5、9 （A～C）	東海地区Q-Uリーダーズネットワーク
	5	「個への支援」 自傷行為への理解と対応	1	自傷行為をする児童生徒への理解を深め、具体的な対応について考える	講話	8月19日（水）　9:00	5、8 （A～C）	教育センター心理士
	6	「個への支援」 不登校児童生徒理解と支援のヒント	1	安城市における不登校支援の実情を事例を通して理解する。また、SSW・支援団体とともに、不登校児童生徒のよりよい支援の在り方について考える	講話	8月21日（金）　9:00	5、8、12 （A～C）	SSW 安城市不登校・ひきこもり支援ネットワーク
	7	「個への支援」 生徒指導のポイント	1	生徒指導における記録の取り方、保護者対応等	講話	8月7日（金）　9:00	7（A～C）	生徒指導指導員　板倉　圭希
	8	私の授業づくり 日本語教育のヒント	1	日本語適応指導教室における指導のポイント	講話	8月4日（火）　9:00	6 （A～C）	日本語適応教室相談員 藤井　友美
	9	私の授業づくり 総合的な学習のヒント	1	総合的な学習における授業づくりのヒント	講話	7月24日（金）　9:00	6 （A～C）	総合的な学習指導員 杉山　也寸史

2　調査研究“学校教育の「これから」を形にする”

（1）目　的

学校教育が抱える今日的課題や長期的展望に立った課題について、教職員の資質向上につながるより実効性のある調査研究を進め、授業で役立つ教材資料の充実や、各教員の研究を支援する体制の充実を図る。

（2）方　針

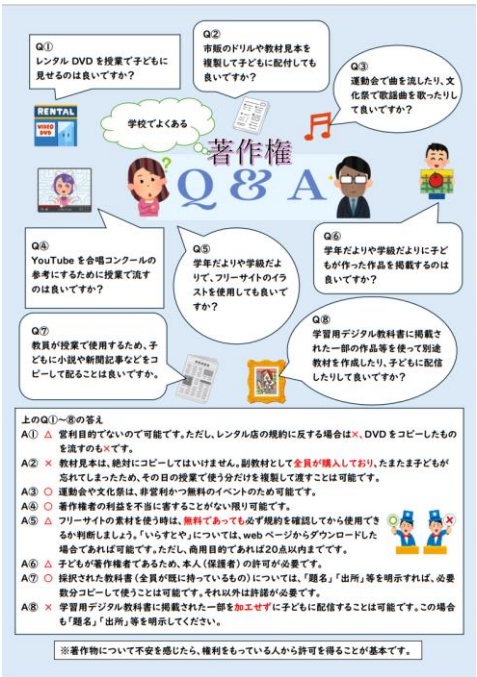
指定研究や自主研修等を生かして、各教員の教育研究を支援し、教師としての力量を高める。

安城市教育委員会指定研究の推進

・研究員は、所属長および本人の了解を得て、安城市教育委員会より委嘱する。
・各研究班に顧問校長を依頼し、指導主事、指導員が１名以上参画する。
・研究員の互選による責任者を中心に企画運営を行う。

No.	研究班名	継続	新規	研究の内容	研究員数
1	特別支援教育スタートアップ研究	○		特別支援教育の基礎的な知識等についての研究	４人
2	日本語適応指導推進研究	○		体系的かつ総合的な日本語指導のガイドラインについての研究	４人
3	教師力向上支援研究	○		「ん?!と思ったときに開く先生の教科書」の改訂作業	４人
4	情報教育研究		○	学校教育でのＡＩ活用についての研究	４人

指定研究グループ成果物



「学校教育と著作権のかかわりの研究」が作成したリーフレット

自主研究グループ

自主的な研究活動により、教師としての力量を高めるとともに、地域に生きる教師の親和共励を図る。

① 健康教育研究「はぐくみ」の会
② 「教師力」を高める「勇気づけ」の心理学
③ 「できた」を増やす学習支援の会
④ 学び合いの授業づくりに向けたＩＣＴ
⑤ みんなの日本語教育
⑥ 低学年の学びを支える会
⑦ 重松鷹泰先生の足跡から学ぶ会
⑧ あなたの町にもきっとあるはず♪わくわく地域教材の会
⑨ 授業が変わる！　教材研究ワークショップ

教育研究論文の募集

《教育研究論文》

〈募集領域〉

1　教科指導（各教科）
2　道徳科
3　外国語活動
4　総合的な学習の時間
5　特別活動
6　特別支援教育
7　教育相談
8　学校・学年・学級経営
9　生徒指導
10　進路指導
11　健康教育
12　その他



開設講座「理科『学び合う』授業のヒント」

研究紀要の刊行

第６３集を発行するとともに、第６４集の発行準備を進める。

【掲載内容】

・研究委嘱校の研究概要
・教科指導員の３年間にわたる継続的研究のまとめ
・派遣研究生の研究成果紹介
・教育研究論文（最優秀・特選）の全文と入賞者一覧、応募者一覧



開設講座「個への支援～不登校児童生徒の理解と支援のヒント～」

教職員の研究相談

・研究・実践上の諸問題について、随時教職員の相談に応じる。
・研究図書や先行研究、実践例、講師や研究校等の情報を提供する。
・ＱＵ検査結果をもとに、学級経営相談の機会を設ける。



初任者研修「傾聴の仕方」



開設講座「ICT で変える！学習者が動き出す授業デザイン」

派 遣 研 究 生

・1年間、研究機関へ派遣し、年度末に研究資料および報告書を作成する。
・次年度の研修等において、研究成果を発表する。
・研究紀要（第64集）に研究概要を掲載する。

教育機関との連携

全国教育研究所連盟、東海北陸教育研究所連盟への加入により、各地の先進的な研究の交流を行う。

3　教育相談 “自立に向かって力を合わせる”

（１）目　的

いじめ・不登校や進路・適性等に関する相談をはじめ、保護者や教職員のさまざまな相談に応じる。不登校児童生徒を支援するために、学校との連携を図り、教育支援センター「ふれあい学級」活動の一層の充実を図る。

（２）方　針

ア　社会的な自立を目指した環境を整えるために、保護者、学校、関係機関と連携する。

イ　教育支援センターへの継続的な通室や社会復帰のために家庭との連携を密にする。

ウ　特別支援等のさまざまな支援を要する児童生徒への教育相談の充実を図る。

エ　子ども発達支援センターを始めとする関係諸機関との連携を図り、関係学校への支援をつなげる。

教育相談

◎性格・行動に関すること
・いじめ　・不登校　・非行
・かん黙　・情緒不安定等
◎学習に関すること
学業不振等
◎進路・適性に関すること
◎発達に関すること

【　支　援　策　】

電話相談

月曜日～金曜日
時間　９時～17 時
担当　家庭教育相談員

こころの電話 76-9674（くろうなし）

来所相談

月曜日～金曜日
時間　９時～17 時
担当　家庭教育相談員

ふれあい相談

○臨床心理士によるカウンセリング・遊戯療法等
時間　10 時～12 時
13 時～17 時
（月曜日は 18 時まで）
月曜日　臨床心理士　３名
火曜日　臨床心理士　２名
水曜日　臨床心理士　３名
木曜日　臨床心理士　２名
金曜日　臨床心理士　３名

訪問相談

月曜日～金曜日
時間　９時～17 時
（必要に応じて）
担当　ＳＳＷ
内容
児童生徒対応や保護者対応のため、ＳＳＷ１２名（社会福祉士８名＋社会教育指導員兼家庭相談員４名）が支援にあたる。

他機関との連携

◎市内機関
・こども発達支援センターあんステップ♬
◎西三河教育事務所家庭教育相談員
・安城市内各小中学校訪問相談の情報交換
・不登校児童生徒や保護者に「ふれあい学級」紹介
◎刈谷児童相談センター
・進路・適性についての情報交換
・不登校児童生徒の進路についての助言

教職員対象の教育相談

市内の教育関係職員の職務上、身上・生活等に関する悩みの相談に応じ、解決のための援助を行い、生活の安定と福利の推進を図る。

教育支援センター「ふれあい学級」

【通室時間】センター教室…月・火・水・金曜日　午前９時～午後３時
南・北教室　…　　火・水・金曜日　午前９時～午後３時
＊木曜日はいずれも午前９時～正午
＊夏季休業中は学習日を設ける（午前９時～午前１１時３０分）

○ 不登校児童生徒の社会的自立を目指した個別指導、生活指導、対人関係・社会性の指導、補充学習および面談等を行う。
○ ＳＳWや教育支援センター指導補助員による家庭訪問支援を行う。また、他機関との連携を強化し、不登校児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけて支援を行う。
○ 通室面談や保護者面談を実施して、家庭との連携を密にする。
○ 通室状況報告書の作成、教育相談・担任面談の実施を通して学校との連携を図る。
○ 学期に２回例会をもち、通室生の状況や家庭訪問支援について情報を共有し、個への支援の在り方を話し合う。

◎ 達成感・成就感を生む個に応じた補充学習
- 学習への達成感や成就感を生むために、各自に学習内容を自己決定するように促し、決めたことに最後まで取り組めるよう個別に支援したり努力を認めたりする。
- 学習意欲を高めるために、面談を通して学習の動機づけを図り、個に応じた支援を継続する。
- 学習の足跡を積み重ねることで、自分の努力を見える化し達成感が味わえるようにする。

◎ 社会性を育てる異年齢集団活動の推進
- ゲーム的活動(将棋・トランプ・オセロ等)
- 軽スポーツ(卓球・バスケットボール・サッカー等)
- 共同作業的活動(栽培・調理・工作・実験等)
- 校外活動(遠足・社会見学等)
- 外部の団体と活動を共にすることで、興味関心を広げたり、コミュニケーション力を養ったりする。
- ＳＳＴを行い、対人スキルを養う。
- 人間関係づくりを学ぶために、ボランティアと子どもたちが一緒に学習活動や体験活動に取り組む。

◎ 自己決定力や成就感を得るための個人的活動の推進
- アイデアを生み出しやすく、個を生かす活動
- 持続力を養い、成就感を生む活動
(楽器演奏・工作・絵画等)

◎ カウンセリングの実施
- 活動の様子から心理状況を捉え、個に応じて生活をよりよくするための自己決定を支援していく。

保護者との連携

○保護者のカウンセリング
○通室面談・保護者面談
○ＳＳWによる訪問支援、オンライン支援

学校との連携

○教育相談・担任面談
○通室状況報告書の作成・送付
○訪問支援
　ＳＳWが計画的に学校を訪問し、管理職や関係職員、ＳＣと体制づくりや対策・支援について話し合う。
○登校支援・交流支援
　個々の通室生の状況に合わせて、学校の情報を発信したり、担任等との交流の機会を設定したりする。
○校内教育支援センターとの連携

【運営会議】助言者を招き、活動記録に基づいて個の理解と運営について話し合う。
【不登校に関する調査研究・事業】不登校の実態把握、支援方法の研究、学校復帰後の追跡調査を行う。
【家庭訪問支援】ＳＳWが、引きこもりやいじめなどの生徒指導上の問題、虐待、ネグレクトなど家庭環境の問題を抱える児童・生徒を対象に、学校や保護者からの要請・了解の下に行う。

４　教育情報活用 “「知りたい」を届ける”

（１）目 的

学び合いのある授業づくりや事務の効率化に寄与するために、教育関係情報の収集や共有化を進めるとともに、安城市独自の教育情報提供および活用促進に努める。

（２）方 針

ア 校務支援ソフトの円滑な運用を図る。

イ 安城市教育情報ネットの一層の活用を図る。

ウ ＩＣＴ活用のための情報提供及びＩＣＴ教育の推進を図る。

エ 情報教育支援事業と情報モラル教育の推進を図る。

安城市教育情報ネットの管理・運用・活用

・研修・講演

学校教育に関わる研修や講演

保護者対象の講演が行われる際の、学校への案内配布

・教育図書閲覧

図書室にて教育に関わる書籍や雑誌の閲覧・貸出（一部）

教科用図書の閲覧

・教育相談

小学生から中学生までの本人・保護者（安城市内在住者）との相談

不登校や発達障害などの教育に関わる相談（電話・来所）

ＧＩＧＡスクール構想の推進

・ＮＥＸＴ　ＧＩＧＡ支援室の設置

より質の高い教育の実現に向けたＩＣＴの活用推進

タブレットやアプリ等のＩＣＴを効果的に活用した学び合いのある授業づくりの推進

学習の状況に応じた教材の提供による知識・技能の習得等、効果的な学びの支援

教育機器利用の研究や利用促進、タブレットを利用したオンラインでの配信についての研究

情報活用能力（情報の収集・取捨選択・構成・発信）とＩＣＴ機器活用能力の育成

情報教育の推進およびＩＣＴ活用の支援のための、情報技術者（ＳＥ）の派遣

○教材･教育図書の貸出サービス

・教材（ＣＤ、ＤＶＤ）

・教育図書

併せて 10（本・冊）　３週間以内

○ 教育センター所報『啐啄』の発行

・教育センターの活動紹介や教育情報等の提供をする。

・年間２回発行（４月・１０月）



所報『啐啄』

安城市教育センター講演会

令和８年８月２０日（木）　１３：１５～
シーホース三河チームディレクター　佐古　賢一　氏





令和７年度　教育センター講演会　小野田正利　氏（大阪大学名誉教授）

.

第６３回かがくのひろば

・期　日　令和９年１月１６日(土)～１月１７日(日)
・場　所　へきしんギャラクシープラザ（安城市文化センター）
・表　彰　かがく大賞　優秀賞　エコロジー賞　ウェルビーイング賞
・出展者　市内小中学校　　安城市少年少女発明クラブ
・その他　・「あいち少年少女創意くふう展」「全日本学生児童発明くふう展」等への出展
・ＣＤ版作品収録の作成





新着図書の展示（２階ロビー）

沿　　革

昭和５５年　　４月　１日　安城市教育研究所開設準備
　　５月　３１日　「研究所だより」創刊号発行
　　１０月　１日　条例・規則の施行　　開所　　初代所長　小野内 英司氏　就任
　　１２月２４日　ＶＴＲ編集機設置
　５６年　４月　１日　２代所長　　坂倉 禅渓氏　就任
　　４月１７日　東海北陸教育研究所連盟に加盟
　　６月　９日　全国教育研究所連盟に加盟
　５７年　４月１２日　教育研究所改装工事検査
　５８年　４月　１日　３代所長　　岡田 仁氏　就任
　６０年　２月２８日　創立５周年記念誌「５年の歩み」および別冊（研究所だより合本）を発行
　　４月　１日　４代所長　　田中 實氏　就任
　６２年　４月　１日　５代所長　　神谷 美好氏　就任
　６３年　６月２３日　コンピュータ研修室設置
　　６月２４日　新ビデオ編集システム導入
　　１０月　１日　６代所長　　石川 満氏　就任
平成元年　　２月　１日　２階研修室を桜町小学校教室に転用のため閉室
　　４月　１日　７代所長　　杉浦 健氏　就任
　　６月２８日　ＯＨＰ、ＶＴＲ等視聴覚機器補充
　３年　　１月１７日　３階研修室を桜町小学校教室に転用のため閉室
　　４月　１日　８代所長　　味岡 亘氏　就任
　　６月２１日　研究所要覧発行
　　１１月　１日　創立１０周年記念誌「教育研究所の歩み」発行
　４年　１０月　１日　安城市教育センター（仮称）専門委員会の設置および第１回委員会の開催
　　１０月２１日　第２回専門委員会の開催
　５年　　４月　１日　安城市教育センター（仮称）事業採択　　平成５年度・６年度継続事業で建設
　　９代所長　　神谷 輝幸氏　就任
　　７月　２日　教育センター建設工事起工式
　６年　　４月　１日　条例・規則の改正、安城市教育研究所を閉所、安城市教育センターとして業務開始
　　初代所長　　久永 雅俊氏　就任
　　５月１８日　安城市教育センター定礎式
　　７月２６日　安城市教育センター開所式　　教育センターだより「啐啄」創刊号発行
　　８月　１日　開所記念教育講演会開催「講師：東京家政学院大学長　河野重男氏」
　　１０月１５日　市民向けコンピュータ講座開始（土曜日４回開設）
　７年　　３月　１日　安城市教育センター情報ネットワーク開設式
　　５月　１日　「安城市教育研究所だより」創刊号～８４号合本発刊
　　６月３０日　第１回安城市小中学校ふれあい会議開催
　　７月　４日　生涯学習・市民教養講座「わかりやすいまちづくり講座」開始
　８年　　２月　６日　第１回教職員余技展開催
　　４月　１日　２代所長　　神谷 美好氏　就任
　　５月２０日　インターネット接続開始
　　９月１２日　インターネットで英会話授業（安祥中とホブソンズベイの中学校）
　　１１月　７日　戸田提山氏より書の寄贈「愛語よく廻天の力あるを学すべきなり」
　　１１月３０日　安城市小中学校ふれあい会議主催ふれあいサミット開催（「ふれあい宣言」採択）
　９年　　４月　１日　３代所長　　田中 賢氏　就任
　　１１月２６日　市内８中学校インターネット導入見学会

	１２月　１日	市内８中学校ホームページ開設
	１２月１９日	第１回安城市教育センター・データ審査委員会
１０年	４月　１日	市教委指定研究グループにおいてマルチメディア教材開発開始
		臨床心理士による「治療教育」開始
	５月２６日	デジタル・システム工事
	１１月　２日	市内小中学校ホームページ登録・運用開始
１１年	４月　１日	市内全小中学校ホームページ独自管理運用開始
	７月１６日	文部省・郵政省「先進的教育用ネットワークモデル地域事業」（衛星回線工事開始）
	７月２７日	開所５周年記念講演会開催「講師：茨城大学助教授　新井 孝喜氏」
	８月　６日	ビデオ教材購入開始（視聴覚センター選択部会）
１２年	１月　６日	緊急雇用対策情報教育支援事業開始（情報技術者の学校派遣）
	４月　１日	４代所長　　岡田 義征氏　就任
		新情報システム事業開始（週２日、情報処理技術者の常駐）
		インターネットによる情報提供開始
	８月１４日	教育センター・ホームページ全面更新
	１１月　１日	インターネットによるデータベース提供開始
１３年	３月　９日	コンピュータ研修室のコンピュータ更新
	４月１１日	教育図書、研究資料、視聴覚センター教材・機器等のデジタル化開始
		（緊急地域雇用創出支援事業によるデータ入力補助員３名）
	７月　３日	適応指導教室幼稚園実習開始（年５回）
	７月１６日	適応指導教室自然教室開始（作手村１泊２日）
	９月　１日	教育センター・桜町小学校無線ＬＡＮ接続によるインターネット高速化試験開始
１４年	９月　１日	コンピュータソフトウエア教材開発開始
	４月　１日	５代所長　　杉浦 紀久氏　就任
		文部科学省「ふれあい学級マルチメディア活用研究委託事業」開始
	６月　１日	視聴覚センター巡回ビデオ小中学校開始
	１１月１５日	全国適応指導教室連絡協議会東海北陸地域会議愛知大会開催
１５年	４月　１日	文部科学省「スクーリング・サポート・ネットワーク事業」開始
	７月１５日	デジタルビデオ編集専用機の導入
１６年	２月　４日	第１回「自作教材フェア」開催
	４月　１日	６代所長　　山本　隆教氏　就任
	５月１２日	市教委指定研究グループにおいて学校との連携研究開始
	７月２６日	開所１０周年記念講演会開催「講師：相田みつを美術館館長　相田 一人氏」
１７年	５月１６日	視聴覚センター「ＤＶＤ対応ビデオプロジェクター」貸し出し開始
	９月　１日	学校間ネットワーク運用開始
１８年	４月　３日	７代所長　　岩月　俊之氏　就任
	４月１３日	特別支援教育相談開始
	５月１２日	就学指導相談開始
	１０月２３日	図書およびビデオ等の電子貸出システム開始
	１２月１２日	新規購入図書・ビデオ等の学校間ネットワークを活用した情報提供開始
１９年	４月　１日	８代所長　　杉浦 智之氏　就任
	４月　２日	情報教育支援事業開始（年次更新作業）
	９月　５日	全職員への教育情報のメール配信開始
２０年	４月　１日	市民講座を廃止
		ふれあい学級での学習ソフト使用開始
	６月１７日	ふれあい学級と学校の担任を結ぶ「ふれあいほっとライン」開始

２１年　４月　１日　９代所長　　阿部 佳之氏　就任
２２年　４月　１日　１０代所長　　早川 昭二氏　就任
２３年　４月　１日　１１代所長　　三宅 信夫氏　就任
　　５月２４日　「校務支援ソフト」中学校運用開始
２４年　４月２７日　「校務支援ソフト」小学校運用開始
２５年　５月２１日　ふれあい学級への学生等ボランティア採用開始
２６年　４月　１日　学校経営アドバイザーの配置
　　７月２４日　開所２０周年記念講演会開催「講師：早稲田大学教職大学院教授　田中 博之氏」
２７年　３月　１日　タブレット端末導入
　　３月２５日　教育委員会移転のための改修工事完了
　　４月　１日　１２代所長　　大見 健治氏　就任
２９年　４月　１日　１３代所長　　安藤 寿英氏　就任
　　学校図書館教育アドバイザーの配置
３０年　４月　１日　不登校児童生徒支援アドバイザーの配置
３１年　２月　１日　プログラミング教材「レゴＷｅＤｏ２．０」貸し出し開始
　　３月３１日　安城市視聴覚センター廃止
　　４月　１日　１４代所長　　神尾 壽明氏　就任
令和元年　６月２４日　学校用高速カラープリンタ設置
２年　１月２１日
　　～ ２４日　教職員余技展「Final」開催
　　４月　１日　不登校児童生徒支援のためのつながりディレクター（２名）配置
　　４月　１日　ふれあい学級として、南教室・北教室を設置
３年　４月　１日　ＧＩＧＡスクール推進室設置
　　４月　１日　ＩＣＴ活用アドバイザー（１名）配置
　　４月　１日　不登校児童生徒支援のためのつながりディレクター増員（１名）
４年　４月　１日　１５代所長 都築光男氏 就任
　　４月　１日　つながりディレクターとの兼任による
　　スクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）配置（４名）
５年　４月　１日　社会福祉士をスクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）として配置（２名））
６年　４月　１日　１６代所長　　井上幹夫氏　就任
　　ＧＩＧＡスクール推進室を、安城ＮＥＸＴ ＧＩＧＡ支援室として改編
　　スクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）としての社会福祉士を増員（３名体制）
　　８月　１日　開所３０周年記念講演会開催「講師：４大会連続五輪（陸上）出場　福士　加代子氏」
７年　４月　１日　特別支援教育アドバイザー（１名）配置
　　ＣＳ（コミュニティ・スクール）学校サポーター（２名）配置
　　スクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）としての社会福祉士を増員（５名体制）
　　教育センター内にふれあい学級第２教室を設置
８年　４月　１日　部活動地域展開サポーター（１名）配置
　　ＣＳ統括及びＣＳ学校サポーター（各１名）増員
　　スクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）としての社会福祉士を増員（８名体制）

安城市教育センター設置条例

（昭和 55 年９月 29 日 条例第 30 号）

改正　平成６年 3 月 28 日安城市条例 第７号　　平成 13 年３月 23 日安城市条例第６号
平成 17 年６月 30 日安城市条例第 42 号抄　令和２年３月 27 日安城市条例第 10 号

（趣旨）

第1条　この条例は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 30 条の規定に基づき、安城市教育センター（以下「教育センター」という）の設置に関し必要な事項を定めるものとする。

（設置）

第２条　教育の充実と振興を図るため、教育センターを設置するものとし、その名称及び位置は次のとおりとする。

名称　安城市教育センター　位置　安城市横山町下毛賀知 13 番地１

２　教育センターに適応指導教室を置くものとし、その名称及び位置は次のとおりとする。

名称　ふれあい学級　位置　安城市横山町下毛賀知 13 番地１
名称　ふれあい学級北教室　位置　安城市東栄町６丁目９番地
名称　ふれあい学級南教室　位置　安城市和泉町大下 38 番地１

（事業）

第３条　教育センターは、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

（１）教育関係者の研修に関すること。
（２）教育に関する専門的、技術的事項の調査研究に関すること。
（３）教育相談に関すること。
（４）教育に関する情報の収集及び提供に関すること。
（５）その他教育の充実と振興を図るため必要な事業に関すること。

２　適応指導教室は、前項第 3 号に掲げる事業のうち不登校児童生徒への支援に関することを行う。

（職員）

第４条　教育センターに所長その他必要な職員を置く。

（企画運営委員会）

第５条　教育センターの企画及び運営について審議するため、安城市教育センター企画運営委員会を置く。

（教育委員会規則への委任）

第６条　この条例に定めるもののほか、教育センターの管理及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附　則　この条例は、昭和 55 年 10 月１日から施行する。

附　則（平成６年３月 28 日安城市条例第７号）　この条例中、第１条の規定は、平成６年４月１日から施行し、第２条の規定は、別に教育委員会規則で定める日から施行する。（平成６年６月教委規則第６号で、同６年７月 26 日から施行）

附　則（平成 13 年３月 23 日安城市条例第６号）　この条例は、平成 13 年４月１日から施行する。

附　則（平成 17 年６月 30 日安城市条例第 42 号抄）　この条例は、平成 18 年４月１日から施行する。

附　則（令和２年３月 27 日安城市条例第 10 号）

（施行期日）

１　この条例は、令和２年４月１日から施行する。

（明祥地域複合施設条例の一部改正）

２　明祥地域複合施設条例（平成 27 年安城市条例第 49 号）の一部を次のように改正する。（次のよう略）

施　設　・　設　備

施　設

建設地	安城市横山町下毛賀知１３番地１
敷地面積	3136.00 ㎡
建築面積	1195.68 ㎡
延床面積	3136.74 ㎡
内訳１階	1147.50 ㎡
２階	1117.87 ㎡
３階	833.04 ㎡
塔屋床面積	38.33 ㎡
構　造	鉄筋コンクリート造３階
基　礎	鉄筋コンクリート造杭打独立基礎
建物最高高	16.35 m
仕上げ概要	屋根　アスファルト防水
	外壁　磁器質タイル（95×45）
	一部複層塗材吹付

設　備

電気設備

受電電力　　１８０ｋＷ

火災報知設備　受信機　Ｐ型１級２０回線

ITV 観察装置　プレイルーム　テレビカメラ１台

空調設備

冷温水発生機

冷却塔一体型ガス焚二重効用吸収式（２台）

都市ガスＬＮＧ

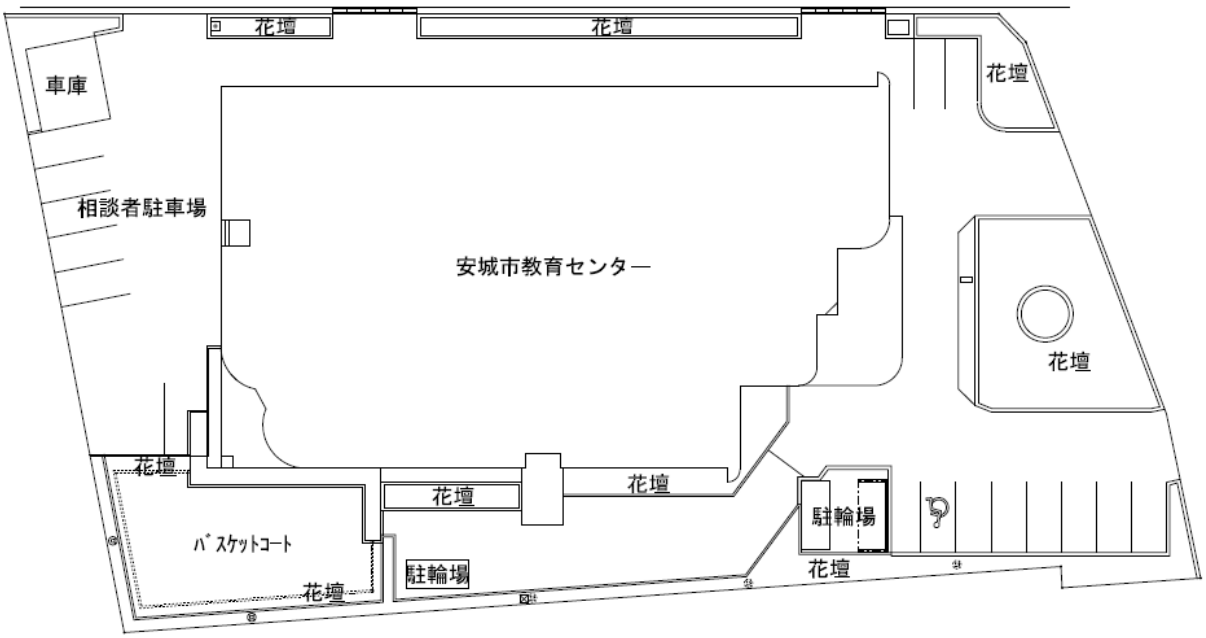
空気調和機　　１台

ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ　　２台

給排水衛生設備

給水設備	市上水道
	受水槽ＦＲＰ(二層式)１８,５００ℓ
	高置水槽ＳＵＳ６,０００ℓ
排水設備	屋内・汚水・雑排水分流式市下水道
消火設備	屋内消火栓　６か所

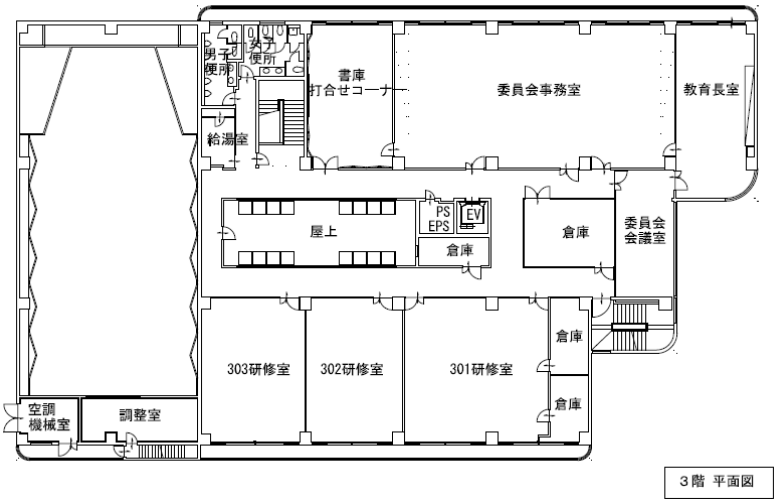
【配置図】



平　面　図

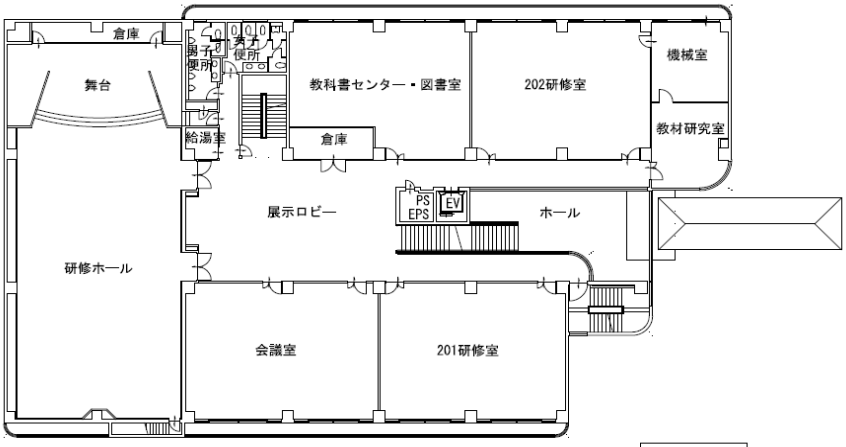
（収容人数・名）

教育長室	60.8 ㎡	
教育委員会事務室	188.1 ㎡	
書庫・打ち合わせコーナー	53.0 ㎡	
委員会会議室	35.0 ㎡	
301 研修室	110.7 ㎡	(32)
302 研修室	57.7 ㎡	(33)
303 研修室	62.3 ㎡	(33)



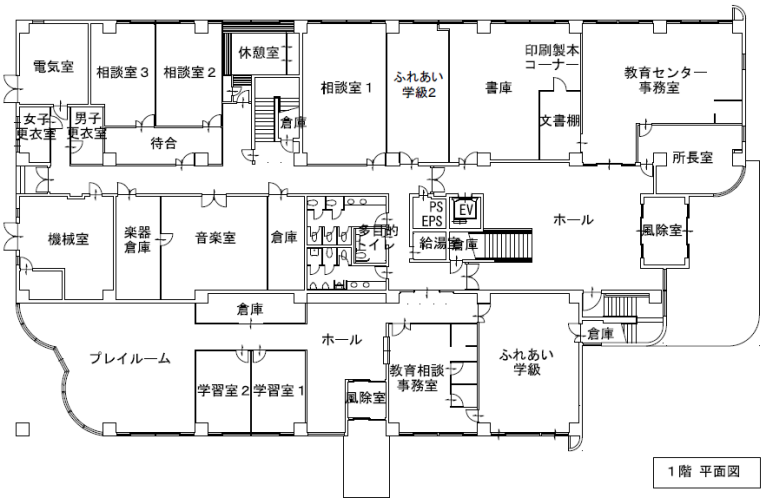
3階 平面図

研修ホール	325.4 ㎡	(226)
会議室	117.7 ㎡	(42)
201 研修室	113.0 ㎡	(63)
202 研修室	110.7 ㎡	(60)
教材研究室	58.5 ㎡	
教科書センター・図書室	96.6 ㎡	(23)



2階 平面図

所長室	28.5 ㎡
教育センター事務室	81.7 ㎡
書庫・文書棚	78.5 ㎡
ふれあい学級２	38.0 ㎡
相談室１	53.2 ㎡
相談室２・３	84.5 ㎡
音楽室・楽器倉庫	72.1 ㎡
プレイルーム	82.3 ㎡
学習室１・２	38.4 ㎡
教育相談事務室	43.4 ㎡
ふれあい学級	59.7 ㎡



1階 平面図

◎利用案内

■開館時間　＊午前８時 30 分～午後７時（月～金）

■休 館 日　＊土・日曜日
＊祝日、国民の休日
＊12 月 29 日～翌年１月３日まで
＊教育委員会の定める日

■教育相談　＊月曜日～金曜日
午前９時～午後５時
＊電話による相談にも応じます
（上記の時間内に７６－９６７４（くろうなし）まで）

■視聴覚機材、教材の利用
＊楽器類　　２週間以内
＊教育図書　　３週間以内・10 冊まで

◎案内図



【交通案内】

安城市教育センターへの交通案内

・ＪＲ東海道新幹線・東海道本線「三河安城駅」より、タクシー約 10 分
・ＪＲ東海道本線「安城駅」より、あんくるバス約 10 分、タクシー約７分
・名鉄名古屋本線「新安城駅」より、タクシー約 15 分
・名鉄西尾線「南安城駅」より、あんくるバス約 20 分、
タクシー約 10 分
（あんくるバス循環線左まわり「教育センター」停　下車）